

# あしや 市議会 だより

2018年5月  
No.104



## 朝日ヶ丘幼稚園

芦屋市の山の手、六甲山麓にあり、豊かな自然に恵まれた幼稚園です。四季の移り変わりを身近に感じることができ、日々の遊びに自然を取り入れています。生き物とのふれあいや栽培活動等の実体験を通じて、子どもたちの豊かな感性と身体の育成を目指しています。

- 直接請求
- 注目の議案をPick up
- 平成30年度予算～新年度事業を問う！～
- 総括質問

芦屋市議会は、市民の皆さんにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。  
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

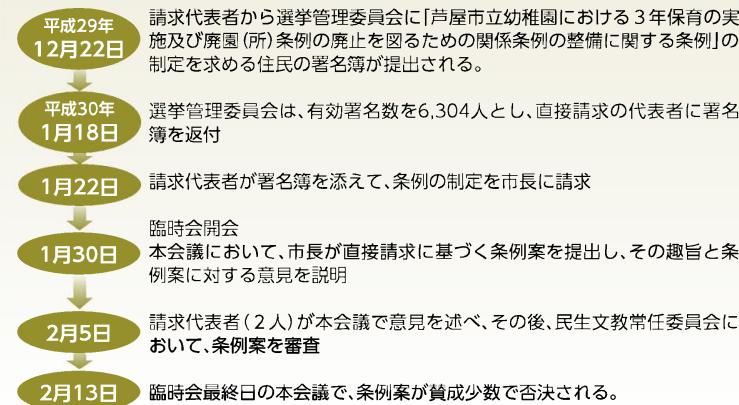
# 直接請求

平成30年  
第1回臨時会  
1月30日～2月13日  
【15日間】

## 市立幼稚園における3年保育の実施と精道幼稚園・精道保育所の存続

昨年9月議会で決まった朝日ヶ丘幼稚園・精道幼稚園・精道保育所の廃園(所)を取り消し、市立幼稚園を8園体制に戻して、幼稚園での3年保育の実施を求める請求

### — 直接請求\*の経過と議会の審議 —



\*直接請求とは、選挙権を持つ住民の50分の1以上の署名によって、住民が直接、条例の改廃請求などをするものです。

#### 市長の意見

本市では、保育所ニーズが年々増加し、依然として多くの待機児童が発生しており、その解消は喫緊の課題である。一方で、市立幼稚園においては、園児数が定員を大きく下回る状況が続いているため、これらの課題は、市全体で早期に解決しなければならない。昨年2月に公表した「市立幼稚園・保育所のあり方」(※1)の計画では、「子育て未来応援プラン」を実現する方向性及び学校教育審議会の答申を踏まえ、園児が減少している市立幼稚園を再編成し、その資源を有効に活用しながら認定こども園を整備することで、永続的かつ効率的に待機児童の解消と3歳児の教育ニーズへ対応することを目的としている。今後は、この「あり方」の計画を着実に進めていくことが、全ての就学前の子どもたちにとって「最善の利益」につながるものと考えている。

#### 請求代表者の意見

・市立幼稚園・保育所のあり方の計画を進めることで、市内にある8つの幼稚園は、既に耐震改修工事が済んでいたため、少しの改修で空き教室の有効利用ができる。また、新しい認定こども園は、ハード・ソフトともに全て一から作らなくてはならず、多額の税金が必要となる。

・預かり保育の時間を延長することにより、共働きの保護者が幼稚園を利用できる。

・市立幼稚園で3年保育ができるよう、保育所にゆとりがあり、待機児童の解消につながる。

・3年保育は国の幼児教育の無償化の受皿にもなり得る。

・市内の約300人が3年保育を求める幼稚園に通っており、3年保育のニーズは確実につながるものと考えている。

(※1)「市立幼稚園・保育所のあり方」について

- 朝日ヶ丘幼稚園を岩園幼稚園に統合し、岩園幼稚園として運営する(平成32年4月)。また、駐車場、スクールゾーン等の課題の解決を検討し、朝日ヶ丘幼稚園敷地に私立幼保連携認定こども園を誘致する(平成33年4月開園)。
- 精道幼稚園を精道保育所と統合し、精道保育所敷地に市立幼保連携認定こども園(定員181人(ただし、平成31年4月から平成33年3月までは、定員146人))を新設する(平成31年4月に精道幼稚園敷地で開園し、その後、平成33年4月に精道保育所敷地へ移転)。
- 打出保育所及び大東保育所を民間移管する(平成34年4月移管)。
- 分庁舎に私立小規模保育事業者(平成31年1月開園)を、芦屋ハートフル福祉公社敷地に私立認可保育所を誘致する(平成32年4月開園)。
- 伊勢幼稚園と新浜保育所を統合し、西浜町市営住宅敷地に市立西浜幼保連携認定こども園(定員186人)を新設する(平成33年4月開園)。また、伊勢幼稚園敷地に私立幼保連携認定こども園を誘致する(平成34年4月開園)。

否決  
(賛成少数)

### 委員会での主な質疑

議員 朝日ヶ丘幼稚園敷地を認定  
ことでも園化するにあたり、スクール  
ブーンや駐車場の問題など、さまざま  
な課題があったと思うが、それに対す  
る対応をとつていく。

議員 今後、2年保育である市立  
幼稚園を選択する人は減つてくる  
のではないか。  
教委 平成34年までは、「市立  
幼稚園・保育所のあり方」の計画を  
着実に進めていき、それが完了した  
段階で、国のはうで示されている幼  
児教育の無償化という新たな要素  
の検討や、当屋の子ども達の動向を  
十分に見極め、その時の状況に応じ  
た対応をとつていく。

要望・意見 市長は一旦、議決した議案に對し  
て、直接請求を出すのはおかしい  
と取られるかのようだな発言は控え  
るべきである。  
市長は平成31年をベースに答えて  
いるが、3年保育の実施や預  
かり保育の延長など、今すぐにや  
れることをなぜやらないのか。

### 本会議での賛成討論

- 市立幼稚園の3年保育については、既に8園全園が耐震工事済みであるため、既存の幼稚園をそのまま使えば、すぐにでも実施可能な施策である。また、午後4時半までの預かり保育を延長すれば、待機児童対策ともなる。
- 住民の意思、民意を反映していないからこそ、今回の直接請求が出されている。それが有効な民意だとする前提として、有権者の50分の1などの条件が設けられている。今回はその定数の4倍にあたる6,304人が賛成しており、間違なくそこに民意があるということを謙虚に受け止めるべきである。
- 議員に対して委員会で発言を求めることができなかったことや、参考人招致を認めてもらえたかったことは残念でならない。
- 国は昨年12月に閣議決定された幼児教育無償化の詳細が間もなく明示される予定であるので、その基準や内容を見てから、再度、本市の計画がこれでいいのかといった検討を行ってもいいのではないか。
- 市立幼稚園において、3年保育を実施すると「民業圧迫」になると言っていたが、行政運営に民業圧迫といった考え方を持ち出すと、病院経営などの民間でもやれることを「公」がやっていることとの整合性がなくなるのではないか。
- 今後、「市立幼稚園・保育所のあり方」を着実に進めていくことだが、近年、市民の声を聞かず行政主導で成功した例をほとんど聞かない。

### 本会議での反対討論

- 市立幼稚園8園体制を維持し、全園で3年保育を実施した場合、ランニングコストとして、年間7,100万円程度多くかかるとの話があった。現状の施設は、幼稚園としての利用を想定しての構造となっているため、給食設備などの施設改修が少なからず必要になる。費用面を含めて総合的に判断すると、市の計画を進めていくほうが現実的である。
- 市が示した「市立幼稚園・保育所のあり方」の方向性は支持するが、依然として3年保育への要望が強いのは事実である。計画を進める中で、市民のニーズ調査をしながら、「さんさんひろば(※2)」の拡充などの施策展開も検討し、3歳児の行き場の提供についても弾力的な対応が必要だと考える。  
(※2)「さんさんひろば」とは、3歳の誕生日がきたら参加できる親子の触れ合い遊びや在園児との交流事業  
市立幼稚園全園で実施
- 昨年に示された学校教育審議会の答申では、市内の中学校園ごとに市立幼稚園を1園から2園にするように求めている。また、市の方針として、3歳児の教育・保育は認定こども園で対応するという方針が示されており、直接請求で言われている、既存の幼稚園を残し、幼稚園教諭を確保することは、今進んでいる方針と違う。
- 議案には反対だが、6,304人の署名をされた方々の思いを謙虚に受けとめ、今後も住民の理解を得ることを忘れないでほしい。
- 市立幼稚園の3年保育については、3歳児からの無償化という國の方針を受けた後に再検討する必要があると思う。

※11ページ「賛否の分かれた議案」の中に、第1号議案として、今回の直接請求にかかる条例案の賛否(議員ごと)を記載しています。

# 注目の議案

平成30年第2回定例会  
2月20日～3月23日  
32日間

今定例会では全部で43件(市長提出議案…40件、議員提出議案…2件、陳情…1件)の議案等が審議されました。今月では、この中から3つの議案と臨時会で可決した意見書を紹介します。

芦屋市保健センターの管理に関する条例の一部を改正(第15号議案)

**Pick up 1**  
保健センターで実施する健康チェックにピロリ菌感染に係る検査を追加

可 決  
(全員一致)

Q 保健センターで健康チェックを受けている年間の受診者数は?

A 年間で400名弱

Q 今後、ピロリ菌の検査を受けたいという希望者の推計は立てているのか?

A 約50%の方が希望されるとの推計を立てている。

●ピロリ菌については、広く周知していくことが健康チェックの受診増につながるために、市のホームページを活用するなど、広報に努めてほしい。

●若方にピロリ菌チェックを受けているいただき、今後の保険料抑制にもつなげてほしい。



平成29年度芦屋市一般会計補正予算  
(第6号)(第7号)(第15号議案)  
**Pick up 2**  
年度末に当たり各種事業費や財源などを確定

可 決  
(全員一致)

Q 公園緑地等の施設整備  
Q 国庫補助金が減額となり、次年度に施設整備を見送ったことだが、整備が遅れるとなると本市のまちづくりにも大きな影響を及ぼす。今まで以上に国への補助金に適合するよつた整備計画が必要になるのではないか。

A 近年、国の補助率が非常に低くなっている。本市の整備計画自体を見直すことはないが、今後も国への動向を見ながら計画を立てていく。

Q 教育費の保健体育総務費(備品購入費)  
Q 備品購入費において、テントを購入した理由は?

A 委嘱者の意向が青少年教育の充実に使ってほしいとのことであつたため、学校活動に限定せず、コマスク活動などにおいても広く活用できるものはないかと考え、テントの購入に充てるこにした。

ふるさじ寄附金  
Q 本市に寄せられたふるさじ寄附金についてどのような目的でどのように使つているのかを市民にアピールしていくことも重要なことがあります。  
A 寄附金の集計には多少の時間がかかるが、できるだけ早くお知らせすることも大切であるため、検討していきたい。

●大学等入学支度金の給付事業について、経済的な理由で大学等への入学を断念する子どもが出ないように、また、入学後の学費等に対する補助について、国に対し拡充を求めてほしい。

●施政方針に記載のある事業が、国庫補助金の無駄先送りになる場合がある。事情はどうあれ、事業が次年度以降に先送りになるのであれば、その事業を期待している市民の方に早く知らせるべきである。



**Pick up 3**  
平成29年度芦屋市一般会計補正予算  
(第7号)(第41号議案)  
**国の補正予算に基づく事業費などを追加**

可 決  
(全員一致)

Q 今般成立した国の補正予算に基づく事業費の追加のほか、市税の還付金を追加するもの。

Q 事業を進めていく上で課題は?

A コスト面や工事期間の長さ、また、変圧器などの地上機器の設置場所などの課題がある。

Q 全体の工事が終了するのはいつ頃になるのか。

A 平成31年度末の工事完了を目指し、関係事業者と調整して事業を進めている。

Q 国庫補助金が平成29年度中に交付されることになれば、事業計画全体のスピードアップが図れることはできないか。

A 工事の時期が早まる効果はあると考えるが、その後は、事業計画全体のスピードアップが図れるのではないか。

Q 事業を進める効果はあると考えるが、その後は、事業計画全体のスピードアップが図れるのではないか。

●平成32年1月頃に桜の植栽をすることなどが、芦屋のまちの新たな名所の一つとなることを願っている。

●無電柱化推進計画策定委員会の委員の選定について市として女性委員の割合を定数の40%以上にしたいという目標を掲げられてるので、それに向かって努力してほしい。

【提出先】  
兵庫県知事、兵庫県議会議長

経 緯

**Pick up 4**  
兵庫県住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例(仮称)等において芦屋市における景観地区では全期間にわたり民泊営業の制限を求める意見書を提出

可 決  
(全員一致)

Q 本市議会に既に置かれているテントと混在することのないように、しっかりと管理をしてほしい。

●本市議会として、今後も市民が望む良好な住環境を維持保全するため、住宅宿泊事業の適正な運営の確保について、左記のとおり強く求めるもの。

1 芦屋市における景観地区では、全期間にわたり住宅宿泊事業法に基づく民泊営業を制限する」と。

2 条例違反の民泊営業に対して厳しく指導する」と。

兵庫県と兵庫県議会においては本市議会の要望を真摯に受け止めていたところ、県議会議長がこの意見書を県議会議長と県の担当部長にそれぞれ直接手渡し、要望しました。

に、本市議会を代表して、県議会議長がこの意見書を県議会議長と県の担当部長にそれぞれ直接手渡し、要望しました。

に、本市議会が強く要望した景観法で定める景観地区における民泊営業を全面禁止する内容」が盛り込まれました。その条例案は県議会において、3月2日の本会議で全員一致で可決されました。市内全域を景観地区に指定している本市では、民泊新法に基づく民泊(住宅宿泊事業)は全面禁止されることになります。

※従来の旅館業法に基づく民泊(簡易宿所)は、県の許可を取得すれば、住居専用地域を除く地域での営業は可能です。なお、本市において県の許可を取得している簡易宿所はありません。

# 平成30年度 予算

## 平成30年度予算が成立しました

第24号議案 平成30年度芦屋市一般会計予算 ほか11議案

### 新年度事業を問う! / ~予算審査での意見・要望(抜粋)~

#### 高浜町1番に市営住宅を集約

高浜町1番住宅等大規模集約事業 15億744万9千円

- 高浜町に新たにできる市営住宅に入居される方への丁寧な対応を求める。
- 若年層の住宅困窮者も入居できるように、年齢制限の引き下げを求める。

#### JR芦屋駅南地区における用地取得と施設建築物の実施設計

JR芦屋駅南地区市街地再開発事業 22億4,106万5千円

- 施設建築物の実施設計では、デッキ部分についてはコスト面に加え、デザイン面も考慮することを求める。
- 自転車駐輪場設計画については、費用効果も考えて、集約化による利便性の向上を図るよう求める。
- 公益施設については、行政がサービスの目的意識を持って決定することと、速やかな情報公開を行うことを要望する。
- 公益施設の内容も現状は不確定であるが、この間の説明では既存施設ないものを検討するとされている。本市のまちづくりに際し、総合的な観点で取り組むべきであり、全体像が早期に分かるようにするべきである。
- 地元の方との協議など、事業も大詰めになってくる。市職員の時間外勤務の増大にあたり、必要な人員の確保を求める。

#### JR芦屋駅北自転車駐車場及び阪神打出駅自転車駐車場の改修等

自転車駐車場大規模修繕 6,378万4千円

- 電動自転車や子ども乗せ自転車など、大型化した自転車の利用者が増加している。ニーズに対応した自転車駐車場の整備を要望する。
- 新年度に自転車駐車場の指定管理者の選定替えが予定されているが、競争が生まれる環境整備を求める。

#### 施政方針・当初予算に対して会派から一言!

##### あしや真政会

5年連続で増加していた市税が、ふるさと寄附金の市民税控除などを主な理由に、前年度比3億5,857万円(1.6%)の減少となり、歳入に占める市税割合が半分に近い本市において、また、平成32年度以降に不交付団体へ移行する見通しの本市の現状ではこの減収は看過することのできない課題である。少子高齢化が進み、社会福祉費の増大や施設修繕など、多額の財源を要する事業が予見されるため、将来に向けて、効率の良い財政運営を図るよう要望する。夢と希望を持って選ばれるまちを目指し、明確なビジョンのもと創造的なまちづくりを推進するよう求め賛成する。

#### さくら参道(朝日ヶ丘町)無電柱化工事の実施 芦屋川沿い無電柱化箇所事業着手に向けた調整

無電柱化工事の推進 2億6,443万9千円

- 無電柱化の推進については、近隣住民の合意形成のもと計画するよう求める。
- 無電柱化の推進計画の策定に市民参加の仕組み作りを要望する。

#### 市民参画・協働による魅力資源の活用ほか

魅力資源を活用するプロジェクト 6,041万6千円

- 旧宮塚町住宅の活用にあたっては、近隣を含めて駐車・駐輪問題に取り組むよう求める。また、建物が景観重要建造物の指定等を受けることを期待する。
- 旧宮塚町住宅については、地域とも十分に協議し、地域活動支援についても配慮してほしい。

#### 霊園内休憩所の建て替え、道路舗装や側溝の改修、安全柵の設置、合葬式墓地と管理棟の実施設計

霊園整備事業 2億5,544万3千円

- 霊園敷地内の安全対策では、利用者からの要望を最優先にしつつ、対策を講じるよう求める。
- 霊園は昭和20年代に造成が開始されたため、急勾配な坂、狭隘道路、傾斜のある階段など、ユーパーサルデザインとはほど遠いため、利用者からの改善要望に柔軟な対応を求める。
- 合葬式墓地で今後の需要をまかねえると思うが、一般区画の需要も相応に見込まれる。承継者のない墓地の処分など、引き続き未使用区画の整理にも取り組んでいくよう求める。

#### 公明党

地方消費税率効果もあり5年連続で伸びてきた市民税も、ふるさと納税の影響などにより減少し、財産収入の売り払い、基金繰り入れなど、資産の食いつぶしで、しのぐという厳しい状況になってきた。一方、JR芦屋駅南地区の整備や中学校の建て替えなど、公共施設の維持管理などに要する投資的経費や扶助費の増加が見込まれるが、その中でも時代の変化に応じた新規施策も行わなければならぬ。再度、構造的な歳出削減に取り組まないと財政の硬直化に陥る。事業点検によるさらなる無駄の廃止、行財政改革による自治体基盤の再構築などを考えるべきである。

30年度予算案の審査が全議員で構成する予算特別委員会の各分科会(総務・民生文教・建設公営企業)において行われました。分科会では、行財政運営、市民生活、保健福祉、まちづくりなどの予算に関して、活発な質疑応答がされ、多くの意見・要望が出されました。

審査の結果、一般会計予算案については、賛成多数で可決。そのほかの会計についても全員一致または賛成多数で可決されました。この審査結果は3月23日の本会議に送られ、採決の結果、461億4,000万円(前年度比△1億7,000万円、0.4%減)の一般会計予算を含む、総額836億7,084万8千円(前年度比△42億8,132万1千円、4.9%減)の予算が成立しました。

各会計予算に対する賛否は、11ページの「審議結果一覧」をご覧ください。

#### 朝日ヶ丘幼稚園の空き教室を利用した留守家庭児童会(にじいろ学級)を開設

留守家庭児童会の充実 1,974万1千円

- 留守家庭児童会では、施設整備や人員配置などにより入級できないケースが出ており、待機児童が出ないような措置を求める。
- 低学年での待機児童の発生は深刻な問題である。特に岩園小学校の待機が多いが、2学級の施設が整備されながら、人員配置がされず、施設が有効に生かされていない。
- 岩園小学校、山手小学校の留守家庭児童会で低学年の待機児童がいることを憂慮する。改めて、にじいろ学級の案内を対象学級の全児童に送付するなど、あらゆる手段を講じて低学年の待機児童の受け入れを望む。
- 留守家庭児童会の待機児童対策は、保護者の要望と異なる点について改善を求める。山手小学校、岩園小学校の待機児童対策のみで、精道・宮川・浜風小学校の待機児童対策が行われないことは問題である。



#### その他の新年度事業に対する要望等

##### 高齢者バス運賃助成事業

- 高齢者バス運賃助成の利用ができない地域住民の交通アクセス権の保障の観点からも、コミュニティバス運行に向けて、地域への積極的な働きかけを求める。
- バスを利用できない地域もあり、行政サービスの公平性の点で課題がある。上限額を設定したタクシー運賃の助成も検討すべきである。



##### 防災・災害対策費全般

- 衛星携帯電話は、初動時の連絡に必要不可欠であり、命を守るためにも整備を要望する。
- 防災行政無線の戸別受信機については、新たな施設等に適切に配備してほしい。
- 住宅土砂災害対策については、県の補助金を適切に活用し、移転や改修などの対策を円滑に進めるよう要望する。

#### ■その他の主な事業

- ◇シティプロモーション関連事業 ◇屋外広告物補助金
- ◇あしやふるさと寄附推進事業 ◇地域まなびの場支援事業
- ◇認可外保育施設利用者補助事業 ◇部活動支援員の配置
- ◇山手中学校施設整備事業 ◇浜風小学校大規模改修事業
- ◇健康増進事業(ピロリ菌検査) など ◇図書館本館大規模改修
- ◇病児保育事業 ◇あしやキッズスクエア事業
- ◇遠距離通学費の助成

#### 日本共産党

就学援助費の新入学前支給や、ハートフル福祉公社跡地の認可保育所の整備、奥池が対象となる小・中学生通学費の助成など、わが党として求めてきた施策の予算化はあるが、アベノミクスによる経済格差と貧困の拡大という国民生活の厳しさに対応した視点と予算化は見られず、一方で、莫大な財政投入となる阪神電車高架化の検討が施政方針に出てくるなど、財政運営に大きな課題を抱えている。「市民の直接請求制度による条例の改廃請求に『違憲』を持つ」という市長の住民自治に対する無理解は、市民を主権者とした今後の自治体運営に重大な懸念を持たせるものである。

#### 日本維新の会

歳入が減る中、市民の取扱選択の実施による健全な財政運営に努めている点は評価する。一方で、新年度予算にて多額の基金取り崩しが予定されており、基金残高は年々減少している。今後、多額の費用が必要な事業が計画されており、依然として財政的余裕が無い状況が続くと言える。また、少子高齢化による将来的な市税収入の減少、民生費の増加も懸念する。医療費等を減らし、歳入を増やす施策の検討が必要だと考える。今後は、ハード面の整備以外にソフト面への施策も進め、来るべき人口減少社会を見据えた慎重な行財政運営を求める。

# 総括質問

あしや真政会 質問官 福井 美奈子

日本共産党 質問官 ひろせ 久美子

## 安心・安全で魅力あるまちづくりを目指して

**議員** 人口減少や高齢化社会を迎えるにあたり、持続可能なまちづくりが必要であるが、新年度予算編成で重視した点はいかが。

**市** 予算編成においては、経済へのシーリングによる徹底的な事業の見直しにより生み出した財源で、将来を見据えた施策など、新たな事業に重点配分したところである。

\*シーリングとは予算編成のひととおりさと寄附による税の控除額が過去最大の約1億円に上り、市税が6年ぶりに減少する本来ならば納税されるべき多額の市民税を失った事実から、国に対し制度を見直すよう働きかけが必要ではないか。

**市** ふるさと寄附に係る返礼品については、廃止あるいは寄附額の1割を上限とするなどの適切な運用についても、国に対し行っている。

**市** ふるさと寄附に係る返礼品については、廃止あるいは寄附額の1割を上限とするなどの適切な運用についても、国に対し行っている。  
**議員** ニュースタジアム開発事業において、施設建築物に含まれる公共交通と自転車駐輪施設計画の進捗を問う。

**市** 市、再開発ビルに配備する公益施設には、子育て支援、多世代交流、情報発信の各機能を導入することとしており、駅前ににぎわい拠点の整備を目指す。今後、実施設計を進めていく。駐輪場については駅前広場の地下空間を有効に活用し、集約化による利便性の向上を図るとともに、景観にも配慮した施設となるよう検討している。

公明党 質問者 田原俊彦

## LINEの活用について

**議員** LINEを活用した取り組みを3点提案する。1点目は子育てや福祉などの市の情報をアッシュリンク通知の機能を使い提供してはどうか。自分にとって必要な情報を設定することができ、タイムリーに情報を受け取ることも可能となる。

**市** スタンプについては、本市にはモチーフとなる公式キャラクターがないが、LINEの機能を使い提供してはどうか。自分で必要な情報を設定することで、いつでもどちらでも相談できる体制が必要と考える。

**議員** 2点目は中学生向けのいじめ相談に活用できないか。これまでの面接や電話での相談により、中学生にとつて身近なLINEでも相談できる体制が必要と考える。

**市** 2点目は中学生向けのいじめ相談に活用できないか。これまでの面接や電話での相談により、中学生にとつて身近なLINEでも相談できる体制が必要と考える。



**議員** 性的少数者に対する配慮の視点から、今後性別に関係ない制服の導入を検討してはどうか。

**市** 制服の見直しを行う際には、性別による配慮の点からも大切に検討する予定であるため、その結果を注視していく。

### ◆その他の質問

・子育て支援について

・健康について

・環境について

・防災について

**議員** 阪神電鉄の立体交差化を含む都市施設整備の今後の方向性は。市 平成30年度に今後の事業の優先度などの検討を進め、住宅都市として必要な都市施設の整備に関する基本方針等で方向性を示してほしい。

**市** 滝溝が多発する阪神電鉄打出南宮町踏切

## 地方自治に携わる者としての基本姿勢を問う

**議員** 直接民主主義と間接民主主義の関係性の認識を問う。臨時議会での直接請求を否定するがとき市長発言の撤回と市民への謝罪を求める。

**市** 地方自治では、議員及び首長は住民により直接選出され、住民の代表である議員による議決により重要な意思決定がなされる間接民主制を基本としており、これを補完するために条例の制定や改廃などの直接請求制度が設けられていると認識している。

**市** 憲法を遵守してきたからこそ、平和国家として発展したと考えておられる譲歩の姿勢は堅持し、憲法は改正すべきではないと考えている。

**議員** 国民健康保険の県単位化が市民に及ぼす影響は。

**市** 4月からの県単位化後も手続等に大きな変化はない。

**議員** 保険料負担について、子どもたちの負担削減を求める。

**市** 保険料負担については、課説割等の引き下げや子どもの均等割の廃止を含めた負担削減を求める。

**議員** 年行つており必要に応じて、生徒会での議論やPTA役員会等の意見を伺いながら、検討するようにしている。

**議員** 国の生活扶助基準引き下げへの対応について問う。

**市** 合わせた見直しが必要ではないか。

**議員** 各学校とも、校則の見直しを個別に検討していく。

**議員** 子育て世代包括支援センターの今後の取り組みについてほか

**議員** 市立幼稚園・保育所の民营化にかかる公的責任が後退しないか。本市としているが、市独自の支援までは考慮していない。

**市** 本市においては、公立・私立の園基準を上回る手厚い保育士の配置により、就学前カリキュラムを通して質の高い教育・保育を提供している。今後も「市立幼稚園・保育所のあり方」を考えてい。

**議員** 市立幼稚園・保育所の民营化にかかる公的責任が後退しないか。本市としているが、市独自の支援までは考慮していない。

**市** そが市の責務であると考えている。

**議員** 小規模企業を振興する条例の制定は、兵庫県商工会議所連合会など商工団体からの要望もあり、地方創生や地域振興を視野に入れ、検討している。

**議員** 市内の中小商店・企業の支援策として、中小企業振興条例や公契約条例の制定を求める。

**市** 制定は、兵庫県商工会議所連合会など商工団体からの要望もあり、地方創生や地域振興を視野に入れ、検討している。

**議員** 市内の中小商店・企業の支援策として、中小企業振興条例や公契約条例の制定を求める。

**市** や口頭の説明だけではなく情報が正確に伝わらないこともあるが、ホームページから画像添付ができるれば正確な情報伝達が可能と考えるが、どのような運用を進めていく。

**議員** 市民からの相談において、文章や口頭の説明だけではなく情報が正確に伝わらないことがあるが、どのような運用を検討しているか。

**市** お困りです課における画像添付については、ホームページの総合お問い合わせセイフームに画像添付が可能と考えるが、どのような運用を検討するものである。受信した画像は個人情報等が含まれることもあるため、公開共有までは考えていないが、内容や位置情報を有効に活用し、速やかに対応につなげていく。

**議員** スマートフォンアプリの活用など、市民が手軽に使える運用を提案する。

**市** アプリの導入については、個人情報等の課題もあるため、現時点では考えていないが、総合お問い合わせセイフームへのアクセスのしやすさを工夫するなど、利便性を高めるとともに、周知を図っていく。

◆その他の質問

・文化行政について

日本維新の会 質問者 寺前尊文

## 無電柱化推進のあり方

**議員** 無電柱化は防災性の向上、良好な景観形成にも寄与するため、住宅都市のブロック方式による見直しを年々行つており必要に応じて、生徒会で意見を聞く際には、PTA役員会等の意見を伺いながら、検討するようにしている。

**議員** 中学校の校則について、時代に合わせた見直しが必要ではないか。

**市** 各学校とも、校則の見直しを年行つており必要に応じて、生徒会で意見を聞く際には、PTA役員会等の意見を伺いながら、検討するようにしている。

**議員** 中学校の校則について、時代に合わせた見直しが必要ではないか。

**市** 会社と公用金分担が可能な機会に狙いを定め、公共インフラの更新と併行する方法で実施することが望ましいと考えるが、市の方針を聞く。

**議員** 無電柱化事業については、さくら参道の平成31年度の整備完了を目指すとともに、基本理念や整備方針を明確にするため、本年度の条例制定・推進計画の公表に向けて取り組んでいる。

**市** 無電柱化事業については、さくら参道の平成31年度の整備完了を目指すとともに、基本理念や整備方針を明確にするため、本年度の条例制定・推進計画の公表に向けて取り組んでいる。

**議員** 3点目は市のアピールの手法として、本市のLINEスタンプをつくり活用してはどうか。

**市** 3点目は市のアピールの手法として、本市のLINEスタンプをつくり活用してはどうか。

### ◆その他の質問

・子育て支援について

・健康について

・環境について

・防災について

## ◆審議結果一覧（第1回臨時会・第2回定例会）

議案番号	件名	結果	内容
条例の制定			
1	芦屋市立幼稚園における3年保育の実施及び廃園する条例	否決	2・3ページの「直接請求」をご覧ください。
17	指定住宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	可決	居宅介護支援事業者の指定基準が県から移設されることに伴い、指定住宅介護支援事業者の指定の基準並びに指定住宅介護支援事業の人員及び運営に関する基準等を定めるもの
条例の一部改正			
12	附置機関の設置に関する条例	可決	社会福祉審議会の委員の定数をふやすとともに、構成員として市民や行政関係者を加えるもの
13	給付会計条例	可決	芦地造成事業による用地売却の完了に伴い、芦屋市地造成事業特別会計を廃止するもの
14	手数料条例	可決	地方公共団体の手数料の標準に関する令の改正に伴い、危険物の貯蔵所の設置許可に関する省令等の手数料引き上げるもの
15	保健センターの管理に関する条例	可決	保健センターで実施する健康チェックにビロリ感染検査を追加し、その使用料を定めるもの
16	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例	可決	就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、関係規定を改正するもの
18	指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準等を定める条例	可決	国の基準の改正に伴い、サービスの人員、設備及び運営に係る規定を改正するもの
19	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	可決	国の基準の改正に伴い、指定介護予防支援の基本方針及び具体的な取扱方針に関する規定を改正するもの
20	介護保険条例	可決	介護保険法等の改正に伴い、保険料段階の判定基準及び保証料を科せられる者の範囲を変更するもの
21	国民健康保険条例	可決	国民健康保険法等の改正に伴い、保険料の賦課に関する基準等の規定を改正するとともに、被保険者間の保険料負担の均配を図るため、基礎賦課額等に関する規定を改正するもの
22	後期高齢者医療に関する条例	可決	高齢者の医療の確保に関する法律の一一部改正に伴い、本市の国民健康保険の住所地特例の適用を受ける者であつて、兵庫県後期高齢者医療区域連合以外の区域に住所を有するものの保険料徴収に関する規定を改正するもの
23	火災予防条例	可決	スマートクラウド機などの消防用設備の設置状況が消防法などに違反する飲食店等について、その違反内容を公表することができる制度を設けるもの
36	一般職の賃員の給与に関する条例等	可決	人事費勤告等を参考に、一般職の賃員の配当員及び子等の扶養手当の月額を改定するとともに、給料月割の減額割合を改定するほか、消防費と防暑費との兼務を解消するもの
37	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例等	可決	国家公務員の退職手当制度の改正を参考に、職員の退職手当の支給水準を引き下げるもの
38	福利医療費の助成に関する条例	可決	福利医療費助成の所得要件である市町村民税所得割額の算定の特例を設けるもの
39	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	可決	国の基準の改正に伴い、サービスの人員、設備及び運営に係る規定を整備するもの
40	消防団員等公務災害補償条例	可決	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、扶養親族のある非常勤消防団員等に係る損害補償の加算額を改定するもの
平成29年度補正予算			
5	一般会計(第6号)	可決	年度末に当たり、各種事業費や財源の確定などに伴い、補正を行うもの
6	国民健康保険事業特別会計(第1号)	可決	国庫支出金等に係る償還金及び基金積立金を追加するほか、前年度の歳計剩余金の追加や被保険者の減少に伴う保険料の補正を行ふもの
7	下水道事業特別会計(第1号)	可決	職員給与費等の追加を行うほか、前年度歳計剩余金の確定により、繰越金の追加及び一般会計からの織入金の減額を行うもの
8	公用地取得費特別会計(第1号)	可決	土地の売却を延期したことによる補正を行うもの
9	都市再開発事業特別会計(第2号)	可決	芦屋駅南地区再開発事業費について、職員給与費等の追加を行うほか、年度内完了が困難となった事業について、繰り越しを行うもの
10	宅地造成事業特別会計(第1号)	可決	土地売却収入及び前年度歳計剩余金の追加を行うもの
11	病院事業会計(第1号)	可決	患者数の見直しにより入院収益及び外来収益を減額するほか、応援医師、研修医師や産休・育休・療休の代替職員の増加並びに退職給付費の増加に伴い、給与費を増額するもの
41	一般会計(第9号)	可決	国の補正予算に基づく事業費の追加のほか、市税の償付金を追加するもの
その他			
2	教育委員会教育長の任命	同意	平成30年3月31日をもって任期が満了する教育長を次期教育長に再任するもの
3	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	平成30年3月31日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
4	人権擁護委員の候補者の推薦	同意	平成30年6月30日をもって任期が満了する委員を次期委員の候補者として再度推薦するもの
議員提出議案			
21	長加賀住宅宿泊事業の適正な運営の所保に関する条例(仮称)等において芦屋市における景観地区では全国的にわたり民泊業の制限を求める意見書	可決	5ページ「注目の議案」をご覧ください。
22	臓器移植の環境整備を求める意見書	可決	10ページ「注目の議案」、「長谷基弘議員に対する問責決議」をご覧ください。
23	長谷基弘議員に対する問責決議	可決	
陳情			
16	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	採択	臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、臓器移植の環境整備を求める意見書の政府や国会への提出を求めるもの(總務常任委員会)

\*陳情は「」内の委員会の審査結果です。

議案番号	件名	結果
議案番号		
平成30年度予算	平成30年度予算	
24	一般会計	可決
25	国民健康保険事業特別会計	可決
26	公用地取得費特別会計	可決
27	福利厚生事業特別会計	可決
28	駐車場事業特別会計	可決
29	介護保険事業特別会計	可決

\*6-7ページの「予算審査会」で、今定例会での予算審査の概要を紹介しています。

\*7ページの「賛否の分かれた議案」を表しています。

## 芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会

### (新)芦屋市消防署高浜分署を視察



2月15日に、芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会の委員をもちまして、芦浜分署の視察を行いました。消防長から挨拶をいたしました。消防署が火災の消火や人命救助などを頼むことがあります。また、外訓練施設、資機材庫、消毒室、トレーニングルームなどを利用できる消防署となっています。

### ◆可決した意見書

#### 臓器移植の環境整備を求める意見書

[提出先] 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

[内 容] 国においては、国民の臓器を提供する権利、臓器を提供しない権利、移植を受ける権利及び移植を受けない権利を同時に尊重しつつ、臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させたため、下記の事項に取り組むよう強く要望する。

- 国民が命の大さを考慮する中で臓器移植に係る意思表示について具体的に考え、家族などと話し合う機会を増やすことができるよう臓器移植に係る異なる啓発に努めること。
- 臓器提供施設における院内体制の整備を図るために、マニュアルの整備、研修会の開催など個々の施設の事情に応じたきめ細かい支援を行ふこと。
- 臓器移植についての説明から臓器提供後のアフターケアまで、ドナーの家族に対してきめ細かい対応が可能となるよう移植コーディネーターの確保を支援すること。

5ページの「注目の議案」をご覧ください。  
◆長谷基弘議員に対する問責決議 定例会で下記の内容の決議を賛成多数で可決しました。

議員は選ばれて選ばれた市民の代表であり、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することが求められています。  
議員は、その姿勢や影響力から、高い倫理の保持が求められ、職務執行の公正さに対する市民の疑惑や不信を招くような行為を防止し、公務に対する市民の信頼を確保するため「芦屋市議会議員及び市長等の倫理に関する条例」を制定するため、芦屋市議会基本条例第7条においては、「議員の政治倫理」として、高い倫理的義務が課せられていることを深く自覚し、常に良心に従い、誠実かつ公正にその職務を行わなければならぬ旨規定している。

また、「芦屋市議会基本条例第7条においては、「議員の政治倫理」として、高い倫理的義務が課せられていることを深く自覚し、常に良心に従い、誠実かつ公正にその職務を行わなければならぬ旨規定している。

よって、ここに長谷基弘議員に対し、議員としての責務を認識し、議員としての高い倫理觀を求めるとともに、反省すべきことを勧告する。以上、決議する。

### ◆賛否の分かれた議案

本市議会では、賛否の分かれた議案に対する議員個人の賛否を「あしや市議会だより」と市議会ホームページで公開しています。

賛否の分かれた議案等の採決の結果は次のとおりです。

会派名	議員名														議決結果								
	岩岡りょうすけ	福井良三	長野美奈子	福井みち子	山田健一	畠中俊彦	中島啓二郎	重村啓彦	松木義昭	徳田直也	帰山彦也	田原俊彦	森ひろみ	平野真理子	寺前裕貴	大原豊	大野裕一	長谷基弘	前田辰一	中島かおり	結果	賛成	反対
第 1 号議案	×	×	×	×	○	-	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	否決	6	13	0
第 2 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	16	0	4
第 21 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	16	4	0
第 23 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	19	0	1
第 24 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	15	4	1
第 29 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	16	4	0
第 30 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	16	4	0
第 32 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	16	4	0
第 39 号議案	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	3	0
議員提出議案第 22 号	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	18	1	1
議員提出議案第 23 号	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	13	5	1

※「○」…賛成、「×」…反対、「-」…欠席、「葉」…棄権、「△」…除斥、「停」…出席停止、「-」…議長（議長は表決に参加しません。）

2018年5月 No.104

議会のナゼ?  
なに?  
再発見!

## 議会クイズ 第22回

？ 3月定例会において可決された平成30年度予算ですが、議会の予算特別委員会の審査は一体何人でされているのでしょうか?  
(出題者:福井利道委員)

①28人

②21人

③6人

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。正解は、8月発行予定のあしや市議会だより105号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。

### 前回のクイズの答え

「12月定例会での議案の可決により、ある事業の会計区分が特別会計から企業会計に変わることが決まりました。その事業は次のうちどれでしょうか?」の正解は、「①下水道事業」でした。

※前回の応募総数は32件



### ■応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第22回議会クイズ応募」としてください。

### ■応募締め切り

平成30年5月28日(月)まで ※当日消印有効

### ■応募先

〒659-8501  
芦屋市精道町7番6号  
芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス:  
[gijityousa@city.ashiya.lg.jp](mailto:gijityousa@city.ashiya.lg.jp)



QRコード  
(メールアドレス)

※個人情報は賞品の発送以外には使用いたしません。

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

## 市議会ホームページで なにができる?

芦屋市議会

検索



### 本会議・委員会を生中継で見る

本会議・委員会終了後、会議録が掲載されるまでの期間は録画配信もしています。

スマートフォンやタブレットでも閲覧が可能です。

### 過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会・特別委員会の会議録を調べたり、見たりできます。

### 会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

### 議案書などを見る

審議に使用する議案書、請願を見ることができます。陳情は件名を掲載しています。議案などの審議結果のほか議員一人一人の賛否も公開しています。

### 請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

### 議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

### 政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

今後もさらに内容  
を充実させていきま  
すので、ぜひご活用く  
ださい。



## 6月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍聴することができます。ぜひお越しください。

月	火	水	木	金	土	日
4	5	6	7	8	9	10
			議会運営委員会	本会議 (提案説明)		
11	12	13	14	15	16	17
建設公営企業常任委員会	民生文教常任委員会	総務常任委員会				
18	19	20	21	22	23	24
議会運営委員会	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問等)	委員会 (予備日)		
25	26	27	28	29	30	
			議会運営委員会	本会議 (表決等)		

○本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。

## 編 集 後 記

やっと花粉症の季節が終わつた。震災の年に発症したので、かれこれ23年も苦しめられている。私の場合はヒノキに特に反応するが通年性のアレルギー性鼻炎なので、特に辛い時期は過ぎたというだけでこれからも症状は出る。戦後の国の植林政策に問題があるのだろうが雑木林の山の姿に戻ってほしいと思うのは私だけだろうか。



【編集委員】  
徳田 直彦